

「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」の受賞について

1. 賞の概要

○目的

この表彰は、従来、官房長官が表彰し実施してきたが、男女共同参画社会づくりに向けた取組の一層の促進を図るため、平成20年度から内閣総理大臣表彰として実施。多年にわたり男女共同参画社会に向けた気運の醸成等に功績のあった者や、各分野において実践的な活動を積み重ね、男女共同参画の推進に貢献してきた者などを顕彰することによって、豊かで活力ある男女共同参画社会の形成に資することを目的として実施するもの。

全国で年10名程度を表彰。

○表彰者 内閣総理大臣 岸田 文雄 氏

2. 受賞者

まつうら けいこ

松浦 恵子 氏 61歳

大分大学学長特命補佐(ダイバーシティ担当)

大分大学男女共同参画推進室長

大分大学医学部 医学生物学教授



○受賞者紹介

研究のためにスイスへ留学していた際に女性研究者への支援体制の充実を目の当たりにした経験もあり、大分大学で男女共同参画への取組が開始された当初から室長に就任。

女性研究者等の研究力向上とリーダー育成、キャリア継続、キャリアアップ等の支援を継続している。

○功績

(1) 大分大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室での業績

- ・教職員や学生向けの育児支援サービス補助事業を実施
- ・疾患に原則制限を設けない病児保育室「ひだまり」の設置
- ・女性教員比率の向上につながる取組を実施

(2) 女性医療人キャリア支援センターでの取組

- ・女性医師交流会・キャリア相談会を実施し、悩みの解決やロールモデル発見への支援
- ・県医師会と連携し、女性医療職の働き方支援事業や女性医師復職支援事業を実施し、キャリア継続やキャリアアップを支援

(3) 男女共同参画社会の実現に係る施策の充実に対する大きな功績

- ・大分県男女共同参画審議会委員を5期10年務め、男女共同参画プラン策定に尽力
- ・大分市や由布市の男女共同参画審議会会長として、施策の充実に尽力

3. 過去の受賞者

平成22年度 山岸 治男 氏(大分県男女共同参画審議会 会長)

令和元年度 後藤 ミツノ 氏(大分県地域婦人団体連合会 元会長)

4. 今後の予定 知事への受賞報告 令和5年7月7日(金) 11時20分～